

第 17 回日本在宅医学会もりおか大会 一般・指定演題

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	疾患別にみる在宅療養者の医療費
演者名	渡邊 厚博 ¹⁾ 一戸 由美子 ²⁾ 矢尾 知恵子 ³⁾
所属	河北医療財団 河北家庭医療学センター 運営支援室 ¹⁾ 河北医療財団 河北家庭医療学センター 診療部 ²⁾ 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷 ³⁾

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告 2. 症例シリーズ報告 3. コホート研究 4. 症例対照研究 5. 調査研究 6. 介入研究 7. 二次研究 8. 質的研究 9. その他研究	NO.
		5

目的

1986 年から推進されている在宅医療の需要は年々増加し、厚労省の統計によると 2011 年から 2013 年の間に在宅療養支援診療所数は 1,345 施設増加している。一方、死因順位ではがん、心疾患、呼吸器疾患、脳血管となっているが、認知症患者の増加が目立つ。当センターにおいてもがん患者が訪問患者の 5 割を占めるも、次いで認知症・脳血管疾患等と非がん患者は増加傾向にある。そこで、当センターの患者において疾患毎の医療費（診療報酬＋利用者一部負担金）に着目し調査した。

方法

2011 年 9 月から 2014 年 8 月までの期間に当センターの訪問診療を利用し、終了となったがん疾患・心疾患・脳血管疾患・呼吸器疾患・認知症の患者 167 名を対象とし、医療費・訪問状況等の比較、調査を行った。

結果

対象患者はがん疾患 100 名、心疾患 14 名、脳血管疾患 16 名、呼吸器疾患 16 名、認知症 21 名であった。平均年齢はがん疾患が 76[34-100]歳、非がん疾患が 81[20-100]歳であり、非がん疾患では認知症が 88[78-100]歳、心疾患が 86[69-98]歳とやや高めであった。平均の在宅療養日数はがん疾患が 94 日、非がん疾患が 216 日であった。非がん疾患では脳血管疾患が 378 日と最も長く、次いで認知症が 292 日であった。医療費で見ると、がん疾患の総医療費の平均は 585,089 円、1 月当たり 192,038 円、1 日当たり 6,401 円であり、1 月当たりと 1 日当たりの医療費が非がん疾患に比べると高かった。非がん疾患の総医療費の平均は 604,647 円、1 月当たり 98,762 円、1 日当たり 3,292 円であった。1 日当たりの医療費では呼吸器疾患が 4,339 円と非がん疾患では最も高かった。

考察

死因順位は、がん、認知症、呼吸器疾患、脳血管疾患、心疾患の順であった。がん疾患の患者は療養日数が短く 1 日当たりで見ると医療費は高かったが、総医療費を比較すると療養日数が長い非がん疾患の患者と大きな差は見られなかった。